

科目名	日本語 I A-1(日本語 I A・I B-1)		科目コード	9010		
英文名	Japanese I A		科目区分	【外国人留学生日本語支援科目】		
担当教員	清水 聖子		教員コード	132	単位数	2単位
開講期間	通年	曜日・時限	金曜日・2時限	授業形態	演習	
学位授与方針との対応	<input checked="" type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける	<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う	<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探究する	<input checked="" type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	大学での専門的な学習に必要な日本語能力の向上をめざす。学習者の興味・役に立つ題材を使い、読む・書く・聞く・話すの4技能を伸ばす。					
授業の狙い・到達目標	日常身近に体験する出来事や社会的な話題について、自分の感想や考えが理由とともに説明できること。異なる視点や考え方を持つ相手と情報や意見の交換ができること。					
授業内容のレベル・関連科目	日本語能力中級レベル					
授業外学習(予習・復習)	予習として、その課で学ぶ新しい漢字・語彙の意味を調べる。復習として、確認プリントの問題を解いて、次回の授業時に提出すること。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計120時間	
使用教科書	①松田浩志・亀田美保『テーマ別 中級から学ぶ日本語(三訂版)』研究社 ②亀田美保『テーマ別 中級から学ぶ日本語(三訂版)準拠 力を伸ばす練習帳』研究社					
参考書・その他教材	参考資料は、随時適宜配布する。					
課題に対するフィードバック	提出された確認プリントは、次回の授業時に返却し、解説を行う。					
成績評価方法	確認プリント(50%)、授業への貢献度(30%)、テスト(20%)で、総合的に評価する。					
成績評価基準	学習の到達目標にどのぐらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	私語・携帯使用厳禁。教科書・練習帳2冊は1年間使うので、必ず購入し、くり返し学習すること。					
科目に関連した教員の実務経験	特になし。					
担当教員への連絡方法	質問はメールでも受け付ける。(mail to : su@aikoku-u.ac.jp)件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。					

## 授業スケジュール

日本語 I A-1

1回	学習内容 予習 復習	ガイダンスー授業の目的と内容、授業の進め方などについて学ぶ シラバスを熟読し、授業の概要についておおむね理解しておく 授業の目的・内容、授業の進め方などについて振り返り、理解を深める
2回	学習内容 予習 復習	第1課 まなぶ 新しい漢字・語彙の意味を調べる 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
3回	学習内容 予習 復習	第1課 まなぶ 本文を読み、問題に答える 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
4回	学習内容 予習 復習	第2課 みつける 新しい漢字・語彙の意味を調べる 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
5回	学習内容 予習 復習	第2課 みつける 本文を読み、問題に答える 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
6回	学習内容 予習 復習	第3課 たべる 新しい漢字・語彙の意味を調べる 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
7回	学習内容 予習 復習	第3課 たべる 本文を読み、問題に答える 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
8回	学習内容 予習 復習	第4課 たとえる 新しい漢字・語彙の意味を調べる 確認プリントの問題を解いて、内容を復習すること
9回	学習内容 予習 復習	第4課 たとえる 本文を読み、問題に答える 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
10回	学習内容 予習 復習	第5課 あきれる 新しい漢字・語彙の意味を調べる 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
11回	学習内容 予習 復習	第5課 あきれる 本文を読み、問題に答える 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
12回	学習内容 予習 復習	第6課 つたえる 新しい漢字・語彙の意味を調べる 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
13回	学習内容 予習 復習	第6課 つたえる 本文を読み、問題に答える 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
14回	学習内容 予習 復習	日本の昔話読んでみよう！ 日本の昔話について調べる 日本昔話について読み返す
15回	学習内容 予習 復習	まとめ 今までの授業内容を振り返る 授業で学んだ内容を再確認する

授業スケジュール

日本語 I A-1

16 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	第7課 かざる 新しい漢字・語彙の意味を調べる 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
17 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	第7課 かざる 本文を読み、問題に答える 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
18 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	第8課 おもいこむ 新しい漢字・語彙の意味を調べる 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
19 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	第8課 おもいこむ 本文を読み、問題に答える 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
20 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	第9課 まもる 新しい漢字・語彙の意味を調べる 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
21 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	第9課 まもる 本文を読み、問題に答える 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
22 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	第10課 なれる 新しい漢字・語彙の意味を調べる 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
23 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	第10課 なれる 本文を読み、問題に答える 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
24 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	第11課 つながる 新しい漢字・語彙の意味を調べる 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
25 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	第11課 つながる 本文を読み、問題に答える 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
26 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	第12課 わける 新しい漢字・語彙の意味を調べる 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
27 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	第12課 わける 本文を読み、問題に答える 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
28 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	第13課 おもいだす 新しい漢字・語彙の意味を調べる 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
29 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	第13課 おもいだす 本文を読み、問題に答える 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
30 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	まとめ 今までの授業内容を振り返る 授業で学んだ内容を再確認する

科目名	日本語 I B-2 (日本語 I A・I B-2)		科目コード	9020		
英文名	Japanese I B		科目区分	【外国人留学生日本語支援科目】		
担当教員	清水 聖子		教員コード	132	単位数	2単位
開講期間	通年	曜日・時限	火曜日・2時限	授業形態	演習	
学位授与方針との対応	<input checked="" type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける	<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う	<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探索する	<input checked="" type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	大学での専門的な学習に必要な日本語能力の向上をめざす。学習者の興味・役立つ題材を使い、読む・書く・聞く・話すの4技能を伸ばす。					
授業の狙い・到達目標	中級レベルのパターン化した言語活動の表現・理解からパターンから外れた非日常的な場面における複雑なコミュニケーションが行えることを目標とする。					
授業内容のレベル・関連科目	日本語中上級レベル					
授業外学習(予習・復習)	予習として、その課で学ぶ新しい漢字・語彙の意味を調べる。復習として、ワークブックの問題を解いて、次回の授業時に提出すること。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計120時間	
使用教科書	①鎌田修『生きた素材で学ぶ 新・中級から上級への日本語』ジャパントイムズ ② 鎌田修『生きた素材で学ぶ 新・中級から上級への日本語[ワークブック]』ジャパントイムズ					
参考書・その他教材	参考資料は、随時適宜配布する。					
課題に対するフィードバック	提出されたワークブックは、次回の授業時に返却し、解説を行う。					
成績評価方法	ワークブック・課題の提出(50%)、授業への貢献度(30%)、テスト(20%)で、総合的に評価する。					
成績評価基準	学習の到達目標にどのぐらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	私語・携帯使用厳禁。教科書・ワークブック2冊は1年間使うので、必ず購入し、くり返し学習すること。					
科目に関連した教員の実務経験	特になし。					
担当教員への連絡方法	質問はメールでも受け付ける。(mail to : su@aikoku-u.ac.jp) 件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。					

## 授業スケジュール

日本語 I B-2

1回	学習内容 予習 復習	ガイダンスー授業の目的と内容、授業の進め方などについて学ぶ シラバスを熟読し、授業の概要についておおむね理解しておく 授業の目的・内容、授業の進め方などについて振り返り、理解を深める
2回	学習内容 予習 復習	ユニット1 自己紹介と本当の自分 新しい漢字・語彙の意味を調べる ワークブックの問題を解いて、内容を復習する
3回	学習内容 予習 復習	ユニット1 自己紹介と本当の自分 「重要表現」を確認する ワークブックの問題を解いて、内容を復習する
4回	学習内容 予習 復習	ユニット1 自己紹介と本当の自分 文章を読み、内容を理解する 「意見を述べよう」の課題を行う
5回	学習内容 予習 復習	ユニット2 若者の自己評価 新しい漢字・語彙の意味を調べる ワークブックの問題を解いて、内容を復習する
6回	学習内容 予習 復習	ユニット2 若者の自己評価 「重要表現」を確認する ワークブックの問題を解いて、内容を復習する
7回	学習内容 予習 復習	ユニット2 若者の自己評価 文章を読み、内容を理解する 「意見を述べよう」の課題を行う
8回	学習内容 予習 復習	ユニット3 ジェンダーを考える 新しい漢字・語彙の意味を調べる ワークブックの問題を解いて、内容を復習する
9回	学習内容 予習 復習	ユニット3 ジェンダーを考える 「重要表現」を確認する ワークブックの問題を解いて、内容を復習する
10回	学習内容 予習 復習	ユニット3 ジェンダーを考える 文章を読み、内容を理解する 「意見を述べよう」の課題を行う
11回	学習内容 予習 復習	ユニット4 ことばと文化 新しい漢字・語彙の意味を調べる ワークブックの問題を解いて、内容を復習する
12回	学習内容 予習 復習	ユニット4 ことばと文化 「重要表現」を確認する ワークブックの問題を解いて、内容を復習する
13回	学習内容 予習 復習	ユニット4 ことばと文化 文章を読み、内容を理解する 「意見を述べよう」の課題を行う
14回	学習内容 予習 復習	日本の昔話読んでみよう！ 日本の昔話について調べる 日本昔話について読み返す
15回	学習内容 予習 復習	まとめ 今までの授業内容を振り返る 授業で学んだ内容を再確認する

授業スケジュール

日本語 I B-2

16 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	ユニット5 心と体のバランス 新しい漢字・語彙の意味を調べる ワークブックの問題を解いて、内容を復習する
17 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	ユニット5 心と体のバランス 「重要表現」を確認する ワークブックの問題を解いて、内容を復習する
18 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	ユニット5 心と体のバランス 文章を読み、内容を理解する 「意見を述べよう」の課題を行う
19 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	ユニット6 働くということ 新しい漢字・語彙の意味を調べる ワークブックの問題を解いて、内容を復習する
20 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	ユニット6 働くということ 「重要表現」を確認する ワークブックの問題を解いて、内容を復習する
21 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	ユニット6 働くということ 文章を読み、内容を理解する 「意見を述べよう」の課題を行う
22 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	ユニット7 日本語の多様性 新しい漢字・語彙の意味を調べる ワークブックの問題を解いて、内容を復習する
23 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	ユニット7 日本語の多様性 「重要表現」を確認する ワークブックの問題を解いて、内容を復習する
24 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	ユニット7 日本語の多様性 文章を読み、内容を理解する 「意見を述べよう」の課題を行う
25 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	ユニット8 環境のためにできること 新しい漢字・語彙の意味を調べる ワークブックの問題を解いて、内容を復習する
26 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	ユニット8 環境のためにできること 「重要表現」を確認する ワークブックの問題を解いて、内容を復習する
27 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	ユニット8 環境のためにできること 文章を読み、内容を理解する 「意見を述べよう」の課題を行う
28 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	ユニット9 食の共同性 新しい漢字・語彙の意味を調べる ワークブックの問題を解いて、内容を復習する
29 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	ユニット9 食の共同性 「重要表現」を確認し、文章を読む ワークブックの問題を解いて、内容を復習すること
30 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	まとめ 今までの授業内容を振り返る 授業で学んだ内容を再確認する

科目名	日本語ⅡA-1			科目コード	9030		
英文名	Japanese II A			科目区分	【外国人留学生特設科目】 (必修科目)		
担当教員	清水 聖子		教員コード	132	単位数	2単位	
開講期間	前期	曜日・時限	月曜日・2時限		授業形態	演習	
学位授与方針との対応	◎	1.大学生としての幅広い教養を身につける	○	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する			
		3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する			
		5.学習の過程で発見した課題を探求する	◎	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う			
授業概要	日本語能力を中上級レベル(目安として、JLPT試験N2合格レベル)に引き上げるための授業を行う。「日本語ⅠA」、「日本語ⅠB」でN2～N1レベル相当に匹敵する基礎固めを行う。1年間しっかり学習すれば、日本語能力試験N2～N1合格レベルに到達しているはずである。						
授業の狙い・到達目標	当面の狙いとして、日本語能力を中上級(N2レベル相当)まで引き上げることを目標とする。最終的にはJLPT・N1に挑戦してほしい。						
授業内容のレベル・関連科目	日本語能力N2～N1レベル相当、「日本語ⅠA」、「日本語ⅠB」						
授業外学習(予習・復習)	予習として、配布プリントを確認すること。復習として、確認プリントの問題を解いて、次回の授業時に提出すること。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計60時間		
使用教科書	プリント配布						
参考書・その他教材	随時適宜配布する。						
課題に対するフィードバック	提出された確認プリントは、次回の授業時に返却し、解説を行う。						
成績評価方法	確認プリント(50%)、授業への貢献度(30%)、テスト(20%)で、総合的に評価する。						
成績評価基準	学習の到達目標にどのぐらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	私語及び授業中の退席は厳禁(やむを得ない場合は、教員の了解を得ること)。						
科目に関連した教員の実務経験	特になし。						
担当教員への連絡方法	質問はメールでも受け付ける。(mail to : su@aikoku-u.ac.jp) 件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。						

## 授業スケジュール

日本語ⅡA-1

1回	学習内容 予習 復習	ガイダンスー授業の目的と内容、授業の進め方などについて学ぶ シラバスを熟読し、授業の概要についておおむね理解しておく 授業の目的・内容、授業の進め方などについて振り返り、理解を深める
2回	学習内容 予習 復習	漢字・語彙・文法(1) 配布プリント確認 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
3回	学習内容 予習 復習	漢字・語彙・文法(2) 配布プリント確認 確認プリントの問題を解いて、内容を復習すること
4回	学習内容 予習 復習	漢字・語彙・文法(3) 配布プリント確認 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
5回	学習内容 予習 復習	漢字・語彙・文法(4) 配布プリント確認 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
6回	学習内容 予習 復習	漢字・語彙・文法(5) 配布プリント確認 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
7回	学習内容 予習 復習	漢字・語彙・文法(6) 配布プリント確認 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
8回	学習内容 予習 復習	漢字・語彙・文法(7) 配布プリント確認 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
9回	学習内容 予習 復習	漢字・語彙・文法(8) 配布プリント確認 確認プリントの問題を解いて、内容を復習
10回	学習内容 予習 復習	漢字・語彙・文法(9) 配布プリント確認 確認プリントの問題を解いて、内容を復習すること
11回	学習内容 予習 復習	漢字・語彙・文法(10) 配布プリント確認 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
12回	学習内容 予習 復習	漢字・語彙・文法(11) 配布プリント確認 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
13回	学習内容 予習 復習	漢字・語彙・文法(12) 配布プリント確認 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
14回	学習内容 予習 復習	漢字・語彙・文法(13) 配布プリント確認 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
15回	学習内容 予習 復習	まとめ 今までの授業内容を振り返る 授業で学んだ内容を再確認する

<b>科目名</b>	日本語ⅡA-2			<b>科目コード</b>	9031	
<b>英文名</b>	Japanese II A			<b>科目区分</b>	【外国人留学生特設科目】 (必修科目)	
<b>担当教員</b>	部田 和美		<b>教員コード</b>	153	<b>単位数</b>	2単位
<b>開講期間</b>	前期	<b>曜日・時限</b>	月曜日・2時限	<b>授業形態</b>	演習	
<b>学位授与方針との対応</b>	1.大学生としての幅広い教養を身につける		2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する			
	3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する			
	5.学習の過程で発見した課題を探究する		◎	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
<b>授業概要</b>	上級レベル(JLPT・N2～N1相当)の文法、語彙を習得する。主にJLPTに合わせた問題を解き、その解説を行い、応用問題(作文等)をする。毎回漢字の宿題を出し、翌週に小テストを行う。					
<b>授業の狙い・到達目標</b>	あらゆる場面、状況に対応し理解し得る語彙力、文法力を身に付けることを目標とする。授業をしっかりこなせば、在学中にJLPT・N1に合格するレベルに到達しているはずである。					
<b>授業内容のレベル・関連科目</b>	授業概要に記したとおり。 日本語ⅡB-2(後期)					
<b>授業外学習(予習・復習)</b>	予習)毎回漢字・語彙の問題シートを与え、次回授業時に提出する。 復習)毎回文法・語彙復習課題を与える。			<b>授業外学習に必要な時間</b>	各回4時間、 合計60時間	
<b>使用教科書</b>	教員が用意したプリントを使用する。					
<b>参考書・その他教材</b>	特になし					
<b>課題に対するフィードバック</b>	提出した課題は添削し返却する。間違いの多かった問題については、授業内で再度解説する。3回毎に復習を行う。漢字は予習プリントを出しその小テストを毎週行う。					
<b>成績評価方法</b>	期末テスト70%、授業態度や課題提出等30%					
<b>成績評価基準</b>	試験:講義内容の理解度 課題:内容と提出率					
<b>履修上の注意事項や学習上の助言</b>	授業で学んだことだけでなく、普段から多く日本語に触れ、漢字や語彙を増やすよう心がけること。					
<b>科目に関連した教員の実務経験</b>	特になし					
<b>担当教員への連絡方法</b>	torita@aikoku-u.ac.jp					

### 授業スケジュール

日本語ⅡA-2

<b>1回</b>	<b>学習内容</b>	文字語彙1回
	<b>予習</b>	シラバスを確認しておく
	<b>復習</b>	復習課題プリントを行う
<b>2回</b>	<b>学習内容</b>	文字語彙2回
	<b>予習</b>	漢字プリント第1回
	<b>復習</b>	復習課題プリントを行う
<b>3回</b>	<b>学習内容</b>	文字語彙3回・漢字小テスト第1回
	<b>予習</b>	漢字プリント第2回
	<b>復習</b>	復習課題プリントを行う
<b>4回</b>	<b>学習内容</b>	ここまでの復習(使用した解説プリントからの応用問題等を行う)・漢字小テスト第2回
	<b>予習</b>	漢字プリント第3回
	<b>復習</b>	復習課題プリントを行う
<b>5回</b>	<b>学習内容</b>	文字語彙4回・漢字小テスト第3回
	<b>予習</b>	予習課題プリント
	<b>復習</b>	復習課題プリントを行う
<b>6回</b>	<b>学習内容</b>	文字語彙5回・漢字第1回～3回復習テスト
	<b>予習</b>	漢字プリント第4回
	<b>復習</b>	復習課題プリントを行う
<b>7回</b>	<b>学習内容</b>	文字語彙6回・漢字小テスト第4回
	<b>予習</b>	漢字プリント第5回
	<b>復習</b>	復習課題プリントを行う
<b>8回</b>	<b>学習内容</b>	ここまでの復習(使用した解説プリントからの応用問題等を行う)・漢字小テスト第5回
	<b>予習</b>	漢字プリント第6回
	<b>復習</b>	復習課題プリントを行う
<b>9回</b>	<b>学習内容</b>	文法第1回・漢字小テスト第6回
	<b>予習</b>	予習課題プリント
	<b>復習</b>	復習課題プリントを行う
<b>10回</b>	<b>学習内容</b>	文法第2回・漢字第4回～6回復習テスト
	<b>予習</b>	漢字プリント第7回
	<b>復習</b>	復習課題プリントを行う
<b>11回</b>	<b>学習内容</b>	文法第3回・漢字小テスト第7回
	<b>予習</b>	漢字プリント第8回
	<b>復習</b>	復習課題プリントを行う
<b>12回</b>	<b>学習内容</b>	ここまでの文法復習(使用したプリントからの応用問題を行う)・漢字小テスト第8回
	<b>予習</b>	漢字プリント9回
	<b>復習</b>	復習課題プリントを行う
<b>13回</b>	<b>学習内容</b>	文法第4回・漢字小テスト9回
	<b>予習</b>	予習課題プリント
	<b>復習</b>	復習課題プリントを行う
<b>14回</b>	<b>学習内容</b>	文法第5回・漢字第7回～9回復習テスト
	<b>予習</b>	予習課題プリント
	<b>復習</b>	復習課題プリントを行う
<b>15回</b>	<b>学習内容</b>	ここまでの文法復習(第1回～第5回)・ここまでの語彙の復習
	<b>予習</b>	これまでの内容で不明な点がないか確認する
	<b>復習</b>	教員の提示した復習課題を行う

<b>科目名</b>	日本語 II B-1			<b>科目コード</b>	9040		
<b>英文名</b>	Japanese II B			<b>科目区分</b>	【外国人留学生特設科目】 (必修科目)		
<b>担当教員</b>	清水 聖子		<b>教員コード</b>	132		<b>単位数</b>	2単位
<b>開講期間</b>	後期	<b>曜日・時限</b>	月曜日・2時限		<b>授業形態</b>	演習	
<b>学位授与方針との対応</b>	◎	1.大学生としての幅広い教養を身につける		○	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
		3.論理的・批判的なものの見方を養う			4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
		5.学習の過程で発見した課題を探究する		◎	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
<b>授業概要</b>	日本語能力を中上級レベル(目安として、JLPT試験N2合格レベル)に引き上げるための授業を行う。「日本語 I A」、「日本語 I B」でN2～N1レベル相当に匹敵する基礎固めを行う。1年間しっかり学習すれば、日本語能力試験N2～N1合格レベルに到達しているはずである。						
<b>授業の狙い・到達目標</b>	当面の狙いとして、日本語能力を中上級(N2レベル相当)まで引き上げることを目標とする。最終的にはJLPT・N1に挑戦してほしい。						
<b>授業内容のレベル・関連科目</b>	日本語能力N2～N1レベル相当、「日本語 I A」、「日本語 I B」						
<b>授業外学習(予習・復習)</b>	予習として、配布プリントを確認すること。復習として、確認プリントの問題を解いて、次回の授業時に提出すること。			<b>授業外学習に必要な時間</b>	各回4時間、合計60時間		
<b>使用教科書</b>	プリント配布						
<b>参考書・その他教材</b>	随時適宜配布する。						
<b>課題に対するフィードバック</b>	提出された確認プリントは、次回の授業時に返却し、解説を行う。						
<b>成績評価方法</b>	確認プリント(50%)、授業への貢献度(30%)、テスト(20%)で、総合的に評価する。						
<b>成績評価基準</b>	学習の到達目標にどのぐらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
<b>履修上の注意事項や学習上の助言</b>	私語及び授業中の退席は厳禁(やむを得ない場合は、教員の了解を得ること)。						
<b>科目に関連した教員の業務経験</b>	特になし。						
<b>担当教員への連絡方法</b>	質問はメールでも受け付ける。(mail to : su@aikoku-u.ac.jp) 件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。						

### 授業スケジュール

日本語 II B-1

<b>1回</b>	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	ガイダンスー授業の目的と内容、授業の進め方などについて学ぶ シラバスを熟読し、授業の概要についておおむね理解しておく 授業の目的・内容、授業の進め方などについて振り返り、理解を深める
<b>2回</b>	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	漢字・語彙・文法(14) 配布プリント確認 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
<b>3回</b>	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	漢字・語彙・文法(15) 配布プリント確認 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
<b>4回</b>	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	漢字・語彙・文法(16) 配布プリント確認 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
<b>5回</b>	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	漢字・語彙・文法(17) 配布プリント確認 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
<b>6回</b>	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	漢字・語彙・文法(18) 配布プリント確認 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
<b>7回</b>	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	漢字・語彙・文法(19) 配布プリント確認 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
<b>8回</b>	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	漢字・語彙・文法(20) 配布プリント確認 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
<b>9回</b>	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	漢字・語彙・文法(21) 配布プリント確認 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
<b>10回</b>	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	漢字・語彙・文法(22) 配布プリント確認 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
<b>11回</b>	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	漢字・語彙・文法(23) 配布プリント確認 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
<b>12回</b>	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	漢字・語彙・文法(24) 配布プリント確認 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
<b>13回</b>	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	漢字・語彙・文法(25) 配布プリント確認 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
<b>14回</b>	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	漢字・語彙・文法(26) 配布プリント確認 確認プリントの問題を解いて、内容を復習する
<b>15回</b>	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	まとめ 今までの授業内容を振り返る 授業で学んだ内容を再確認する

科目名	日本語 II B-2			科目コード	9041		
英文名	Japanese II B			科目区分	【外国人留学生特設科目】 (必修科目)		
担当教員	部田 和美		教員コード	153		単位数	2単位
開講期間	後期	曜日・時限	月曜日・2時限		授業形態	演習	
学位授与方針との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける		2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する				
	3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する				
	5.学習の過程で発見した課題を探索する		◎ 6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う				
授業概要	上級レベル(JLPT・N1相当)の文法、聴解を習得する。主にJLPTに合わせた問題を解き、その解説を行い、応用問題(作文等)をする。毎回漢字の宿題を出し、翌週に小テストを行う。						
授業の狙い・到達目標	あらゆる場面、状況に対応し理解し得る語彙力、文法力を身に付けることを目標とする。授業をしっかりとこなせば、在学中にJLPT・N1に合格するレベルに到達しているはずである。						
授業内容のレベル・関連科目	授業概要に記したとおり。 日本語 II A-2(前期)						
授業外学習(予習・復習)	予習) 毎回漢字・語彙の問題シートを与え、次回授業時に提出する。 復習) 毎回文法・語彙復習課題を与える。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間		
使用教科書	教員が用意したプリントを使用する。						
参考書・その他教材	特になし						
課題に対するフィードバック	提出した課題は添削し返却する。間違いの多かった問題については、授業内で再度解説する。3回毎に復習を行う。漢字は予習プリントを出しその小テストを毎週行う。						
成績評価方法	期末テスト70%、授業態度や課題提出等30%						
成績評価基準	試験: 講義内容の理解度 課題: 内容と提出率						
履修上の注意事項や学習上の助言	授業で学んだことだけでなく、普段から多く日本語に触れ、漢字や語彙を増やすよう心がけること。						
科目に関連した教員の実務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	torita@aikoku-u.ac.jp						

### 授業スケジュール

日本語 II B-2

1回	学習内容 予習 復習	文法第1回 シラバスを確認しておく 復習課題プリントを行う
2回	学習内容 予習 復習	文法第2回 漢字プリント第1回 復習課題プリントを行う
3回	学習内容 予習 復習	文法第3回・漢字小テスト第1回 漢字プリント第2回 復習課題プリントを行う
4回	学習内容 予習 復習	ここまでの復習(使用した解説プリントからの応用問題等を行う)・漢字小テスト第2回 漢字プリント第3回 復習課題プリントを行う
5回	学習内容 予習 復習	聴解第1回・漢字小テスト第3回 予習課題プリント 復習課題プリントを行う
6回	学習内容 予習 復習	聴解第2回・漢字第1回～第3回復習テスト 漢字プリント第4回 復習課題プリントを行う
7回	学習内容 予習 復習	聴解第3回・漢字小テスト第4回 漢字プリント第5回 復習課題プリントを行う
8回	学習内容 予習 復習	聴解第4回・漢字小テスト第5回 漢字プリント第6回 復習課題プリントを行う
9回	学習内容 予習 復習	聴解第5回・漢字小テスト第6回 予習課題プリント 復習課題プリントを行う
10回	学習内容 予習 復習	聴解第6回・漢字第3回～第6回復習テスト 漢字プリント第7回 復習課題プリントを行う
11回	学習内容 予習 復習	文字語彙文法総合問題(模試)第1回・漢字小テスト第7回 漢字プリント第8回 復習課題プリントを行う
12回	学習内容 予習 復習	文字語彙文法総合問題(模試)第1回解説・漢字小テスト第8回 漢字プリント第9回 復習課題プリントを行う
13回	学習内容 予習 復習	文字語彙文法総合問題(模試)第2回・漢字小テスト第9回 予習課題プリント 復習課題プリントを行う
14回	学習内容 予習 復習	文字語彙文法総合問題(模試)第2回解説・漢字第7回～第9回復習テスト 予習課題プリント 復習課題プリントを行う
15回	学習内容 予習 復習	ここまでの復習(文法第1回～第3回・聴解第1回～第6回) これまでの内容で不明な点がないか確認する 教員の提示した復習課題を行う



<b>科目名</b>	日本事情 I			<b>科目コード</b>	9050	
<b>英文名</b>	Japan & Its Society I			<b>科目区分</b>	【外国人留学生特設科目】 (必修科目)	
<b>担当教員</b>	中村 塑		<b>教員コード</b>	138	<b>単位数</b>	2単位
<b>開講期間</b>	前期	<b>曜日・時限</b>	火曜日・2時限	<b>授業形態</b>	講義	
<b>学位授与方針との対応</b>	◎	1.大学生としての幅広い教養を身につける		2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
		3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
		5.学習の過程で発見した課題を探究する	○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
<b>授業概要</b>	日本の地理の基礎を学ぶ。日本事情 I では、地形や気候といった日本の自然や、農業や工業、サービス業といった日本の産業を中心に解説する。					
<b>授業の狙い・到達目標</b>	日本の自然や産業について、基本的な知識を身につける。 日本の地理に関する学習を通して、日本をより深く理解する。					
<b>授業内容のレベル・関連科目</b>	社会科学に関する科目としては基礎レベルである。本授業と同じく地理を扱う「地誌学概論」や「地域研究Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」を履修することが望ましい。					
<b>授業外学習(予習・復習)</b>	レジュメを配布して授業を進める。したがって事前にレジュメを読み、授業後もレジュメを再度見直すこと。			<b>授業外学習に必要な時間</b>	各回4時間、合計60時間	
<b>使用教科書</b>	なし					
<b>参考書・その他教材</b>	レジュメを配布する。					
<b>課題に対するフィードバック</b>	特になし					
<b>成績評価方法</b>	定期試験(100%)による					
<b>成績評価基準</b>	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
<b>履修上の注意事項や学習上の助言</b>	日頃から日本の社会情勢について、関心を持つこと。					
<b>科目に関連した教員の実務経験</b>	特になし					
<b>担当教員への連絡方法</b>	メールアドレス:nakamura@aikoku-u.org 研究室:2号館2階研究室7 TEL:043-424-4892					

### 授業スケジュール

日本事情 I

<b>1回</b>	<b>学習内容</b>	ガイダンス(授業の概要や目標などを確認する)
	<b>予習</b>	シラバスをよく読んでおくこと
	<b>復習</b>	授業中に教員が話したことを振り返ること
<b>2回</b>	<b>学習内容</b>	日本の位置について I
	<b>予習</b>	レジュメをよく読んで、日本列島、国土、標準時、時差について概要を理解すること
	<b>復習</b>	レジュメを再度読み直して、学んだことや新たに得られた知見を確認すること
<b>3回</b>	<b>学習内容</b>	日本の位置について II
	<b>予習</b>	レジュメをよく読んで、日本の領域、日本の領域の変化と領土問題について概要を理解すること
	<b>復習</b>	レジュメを再度読み直して、学んだことや新たに得られた知見を確認すること
<b>4回</b>	<b>学習内容</b>	日本の地域区分について
	<b>予習</b>	レジュメをよく読んで、地域区分の概要を理解すること
	<b>復習</b>	レジュメを再度読み直して、学んだことや新たに得られた知見を確認すること
<b>5回</b>	<b>学習内容</b>	日本の都道府県について
	<b>予習</b>	レジュメをよく読んで、都道府県の概要を理解すること
	<b>復習</b>	レジュメを再度読み直して、学んだことや新たに得られた知見を確認すること
<b>6回</b>	<b>学習内容</b>	日本の地形について
	<b>予習</b>	レジュメをよく読んで、日本の山地、川、平地について概要を理解すること
	<b>復習</b>	レジュメを再度読み直して、学んだことや新たに得られた知見を確認すること
<b>7回</b>	<b>学習内容</b>	日本の気候について
	<b>予習</b>	レジュメをよく読んで、日本の気候区分、気候と植物、自然災害について概要を理解すること
	<b>復習</b>	レジュメを再度読み直して、学んだことや新たに得られた知見を確認すること
<b>8回</b>	<b>学習内容</b>	日本の人口について
	<b>予習</b>	レジュメをよく読んで、日本の人口とその分布、日本の人口問題について概要を理解すること
	<b>復習</b>	レジュメを再度読み直して、学んだことや新たに得られた知見を確認すること
<b>9回</b>	<b>学習内容</b>	日本の農業について
	<b>予習</b>	レジュメをよく読んで、日本の農業生産の特色、日本の食料自給について概要を理解すること
	<b>復習</b>	レジュメを再度読み直して、学んだことや新たに得られた知見を確認すること
<b>10回</b>	<b>学習内容</b>	日本の林業について
	<b>予習</b>	レジュメをよく読んで、日本の林業、日本の林産資源について概要を理解すること
	<b>復習</b>	レジュメを再度読み直して、学んだことや新たに得られた知見を確認すること
<b>11回</b>	<b>学習内容</b>	日本の水産業について
	<b>予習</b>	レジュメをよく読んで、日本の水産業の特色、日本の水産業地域について概要を理解すること
	<b>復習</b>	レジュメを再度読み直して、学んだことや新たに得られた知見を確認すること
<b>12回</b>	<b>学習内容</b>	日本の鉱業とエネルギー資源について
	<b>予習</b>	レジュメをよく読んで、日本の鉱産資源、日本のエネルギー資源について概要を理解すること
	<b>復習</b>	レジュメを再度読み直して、学んだことや新たに得られた知見を確認すること
<b>13回</b>	<b>学習内容</b>	日本の工業について
	<b>予習</b>	レジュメをよく読んで、日本の工業生産のあゆみ、太平洋ベルトについて概要を理解すること
	<b>復習</b>	レジュメを再度読み直して、学んだことや新たに得られた知見を確認すること
<b>14回</b>	<b>学習内容</b>	日本の流通とサービス業について
	<b>予習</b>	レジュメをよく読んで、流通革命、さまざまなサービス業について概要を理解すること
	<b>復習</b>	レジュメを再度読み直して、学んだことや新たに得られた知見を確認すること
<b>15回</b>	<b>学習内容</b>	日本の公害と環境保全について
	<b>予習</b>	レジュメをよく読んで、日本の公害の歴史、環境問題について概要を理解すること
	<b>復習</b>	レジュメを再度読み直して、学んだことや新たに得られた知見を確認すること

<b>科目名</b>	日本事情Ⅱ			<b>科目コード</b>	9060		
<b>英文名</b>	Japan & Its Society II			<b>科目区分</b>	【外国人留学生特設科目】 (必修科目)		
<b>担当教員</b>	中村 塑		<b>教員コード</b>	138		<b>単位数</b>	2単位
<b>開講期間</b>	後期	<b>曜日・時限</b>	火曜日・2時限		<b>授業形態</b>	講義	
<b>学位授与方針との対応</b>	◎	1.大学生としての幅広い教養を身につける		2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する			
		3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する			
		5.学習の過程で発見した課題を探求する		○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
<b>授業概要</b>	日本の地理の基礎を学ぶ。日本事情Ⅱでは貿易を例に世界と日本の結びつきや、九州地方から北海道地方まで、日本の諸地域について解説する。						
<b>授業の狙い・到達目標</b>	日本の貿易や諸地域について、基本的な知識を身につける。 日本の地理に関する学習を通して、日本をより深く理解する。						
<b>授業内容のレベル・関連科目</b>	社会科学に関する科目としては基礎レベルである。本授業と同じく地理を扱う「地誌学概論」や「地域研究Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」を履修することが望ましい。						
<b>授業外学習(予習・復習)</b>	レジュメを配布して授業を進める。したがって事前にレジュメを読み、授業後もレジュメを再度見直すこと。			<b>授業外学習に必要な時間</b>	各回4時間、合計60時間		
<b>使用教科書</b>	なし						
<b>参考書・その他教材</b>	レジュメを配布する。						
<b>課題に対するフィードバック</b>	特になし						
<b>成績評価方法</b>	定期試験(100%)による						
<b>成績評価基準</b>	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
<b>履修上の注意事項や学習上の助言</b>	日頃から日本の社会情勢について、関心を持つこと。						
<b>科目に関連した教員の実務経験</b>	特になし						
<b>担当教員への連絡方法</b>	メールアドレス:nakamura@aikoku-u.org 研究室:2号館2階研究室7 TEL:043-424-4892						

## 授業スケジュール

日本事情Ⅱ

<b>1回</b>	<b>学習内容</b>	ガイダンス(授業の概要や目標などを確認する)
	<b>予習</b>	シラバスをよく読んでおくこと
	<b>復習</b>	授業中に教員が話したことを振り返ること
<b>2回</b>	<b>学習内容</b>	日本の貿易について
	<b>予習</b>	レジュメをよく読んで、日本の貿易の特色、貿易摩擦の問題について概要を理解すること
	<b>復習</b>	レジュメを再度読み直して、学んだことや新たに得られた知見を確認すること
<b>3回</b>	<b>学習内容</b>	九州地方についてⅠ(九州地方の自然と産業)
	<b>予習</b>	レジュメをよく読み、九州地方の概要を理解すること
	<b>復習</b>	レジュメを再度読み直して、学んだことや新たに得られた知見を確認すること
<b>4回</b>	<b>学習内容</b>	九州地方についてⅡ(福岡県と長崎県)
	<b>予習</b>	レジュメをよく読み、福岡県と長崎県の概要を理解すること
	<b>復習</b>	レジュメを再度読み直して、学んだことや新たに得られた知見を確認すること
<b>5回</b>	<b>学習内容</b>	中国・四国地方についてⅠ(中国・四国地方の自然と産業)
	<b>予習</b>	レジュメをよく読み、中国・四国地方の概要を理解すること
	<b>復習</b>	レジュメを再度読み直して、学んだことや新たに得られた知見を確認すること
<b>6回</b>	<b>学習内容</b>	中国・四国地方についてⅡ(広島県と高知県)
	<b>予習</b>	レジュメをよく読み、広島県と高知県の概要を理解すること
	<b>復習</b>	レジュメを再度読み直して、学んだことや新たに得られた知見を確認すること
<b>7回</b>	<b>学習内容</b>	近畿地方についてⅠ(近畿地方の自然と産業)
	<b>予習</b>	レジュメをよく読み、近畿地方の概要を理解すること
	<b>復習</b>	レジュメを再度読み直して、学んだことや新たに得られた知見を確認すること
<b>8回</b>	<b>学習内容</b>	近畿地方についてⅡ(大阪府と滋賀県)
	<b>予習</b>	レジュメをよく読み、大阪府と滋賀県の概要を理解すること
	<b>復習</b>	レジュメを再度読み直して、学んだことや新たに得られた知見を確認すること
<b>9回</b>	<b>学習内容</b>	中部地方についてⅠ(中部地方の自然と産業)
	<b>予習</b>	レジュメをよく読み、中部地方の概要を理解すること
	<b>復習</b>	レジュメを再度読み直して、学んだことや新たに得られた知見を確認すること
<b>10回</b>	<b>学習内容</b>	中部地方についてⅡ(愛知県と長野県)
	<b>予習</b>	レジュメをよく読み、愛知県と長野県の概要を理解すること
	<b>復習</b>	レジュメを再度読み直して、学んだことや新たに得られた知見を確認すること
<b>11回</b>	<b>学習内容</b>	関東地方についてⅠ(関東地方の自然と産業)
	<b>予習</b>	レジュメをよく読み、関東地方の概要を理解すること
	<b>復習</b>	レジュメを再度読み直して、学んだことや新たに得られた知見を確認すること
<b>12回</b>	<b>学習内容</b>	関東地方についてⅡ(東京都と茨城県)
	<b>予習</b>	レジュメをよく読み、東京都と茨城県の概要を理解すること
	<b>復習</b>	レジュメを再度読み直して、学んだことや新たに得られた知見を確認すること
<b>13回</b>	<b>学習内容</b>	東北地方についてⅠ(東北地方の自然と産業)
	<b>予習</b>	レジュメをよく読み、東北地方の概要を理解すること
	<b>復習</b>	レジュメを再度読み直して、学んだことや新たに得られた知見を確認すること
<b>14回</b>	<b>学習内容</b>	東北地方についてⅡ(山形県と岩手県)
	<b>予習</b>	レジュメをよく読み、山形県と岩手県の概要を理解すること
	<b>復習</b>	レジュメを再度読み直して、学んだことや新たに得られた知見を確認すること
<b>15回</b>	<b>学習内容</b>	北海道地方について
	<b>予習</b>	レジュメをよく読み、北海道地方の自然、歴史、産業の概要を理解すること
	<b>復習</b>	レジュメを再度読み直して、学んだことや新たに得られた知見を確認すること